

2021年 第3号

RIKKEN
MINSHU
号外

Vol 5

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
http://cdp-japan.jp/



立憲民主党栃木県第1区（衆議院）総支部
〒321-0102
宇都宮市江曾島町 1152-1



渡辺 典喜



宇都宮LRT問題特集号

新聞報道がきっかけで、2021年1月に宇都宮市はJR宇都宮駅東側の次世代型路面電車（LRT）整備の総事業費を当初の見込みから226億円（芳賀町域の費用も含む）増額し、開業も1年延長することを公表しました。それ以降もLRT事業に関しては様々な課題が明らかになっています。

➡昨年とは前提となる条件が変わった現状、市民の意思を確認すべきでは？

Q1 いつ増額が分かっていたの？

2021年3月に明らかになった内部文書では、2018年12月の段階で宇都宮市が公表済みの概算事業費より約172億円の増額を試算していたことが判明しました。内部文書には「2019年4月の市議選挙、2020年11月の市長選挙、反対派の動向を見極めながら公表のタイミングを検討する」とあります。

➡この文書から、昨年11月の宇都宮市長選挙の段階で現職の佐藤市長がLRTの費用増額について知っていたのではないかとという疑惑が出てきます。もし政治生命をかけて望んでいるはずの事業の状況を本当に知らなかったとしたら、それはそれで市のガバナンスとして大きな問題です。

Q2 本当に1年間の延長で大丈夫？

2021年3月現在、宇都宮市は「全ての地権者の方と交渉中としているものの、交渉が成立したわけではありません。合意が得られるか分からない状況に加え、事業の正当性にも疑義が生じている今、1年間の延長で事業が進むとは到底考えられません。



Q3 費用便益分析って何？

公共事業で使われる分析手段で「B（便益）／C（費用）」で計算され、費用と便益の比が1を超えれば実施する価値のある事業です。LRT事業では元の費用458億円なら1.07と1を超えますが、684億円だと、安全性、利便性の向上をプラスして計算しても、0.796となり、1を下回ってしまいます。

渡辺のりよし

1983年宇都宮市生まれ。陽南中学校、宇都宮高校、早稲田大学政治経済学部卒業。在ジョージアの日本国大使館や東日本大震災の被災地での勤務、松下政経塾を経て、立憲民主党栃木県第1区（衆議院）総支部長に就任。

新型コロナ個人向け生活支援情報

新規陽性確認者数が下げ止まったとして、1都3県を対象とした緊急事態宣言も3月21日で解除されました。しかし、栃木県は、県民の皆様には1都3県への不要不急の移動を避けることや歓送迎会等の自粛をお願いするなど、元通りの生活とはいかない状況が続いています。結果的に一部の業界には影響が出ており、お勤めの方の収入基盤が脅かされています。各種支援の申請期間も延長されていますが、必要な方に必要な支援が届いていない現状もあることから、立憲民主党栃木県第1区総支部としても粘り強く情報の発信を続けていきます！

緊急小口資金

対象：新型コロナウイルス感染症の影響による休業等で収入が減った方

申請受付期間：令和3年6月末まで延長になりました。

支援内容：生活費として20万円以内の貸付（無利子・保証人不要）

総合支援資金

対象：新型コロナウイルスの影響を受けて、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている方

申請受付期間：令和3年6月末まで延長になりました。

支援内容：（二人以上世帯）月20万円以内（単身世帯）月15万円以内

貸付期間：原則3か月（再貸付が可能な場合もあります）

*両資金ともに返済開始は令和4年3月末以降かつ、返済時において住民税非課税世帯の場合、償還免除になることが可能です。窓口は市町村の社会福祉協議会になります！

新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金

対象：新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業主が休業させ、その休業に対する賃金（休業手当）を受け取っていない方

*「居酒屋でバイトしているけどコロナの影響でシフトが減った」等の方も対象になります

申請受付期間： ●大企業にお勤めの方⇒令和3年7月31日まで

●中小企業にお勤めの方⇒令和3年7月31日まで（休業した期間が令和3年1月～4月）、それ以前の休業の場合は令和3年3月31日までの受付ですが、例外的に対象になる場合もあります。

*休業支援金・給付金の具体的な支給額や申請方法、細かい条件等、気になる点ありましたら、渡辺のりよしままでお気軽にご連絡ください！

080-5476-7577（携帯）、Facebook、Twitter、
n.watanabe.tochigi@gmail.com（メール）

